

Canon

EOS R5

5

5

5であることが、すべて。

常に過去の5を塗りかえてきた、孤高のEOS。
EOS Rシステムでも、期待を凌駕する完成度を実現した
革新のフルサイズミラーレス。
そのカメラの真の完成は、あなたが手にする、その時。
多くの言葉はいらない。
5であることが、すべてなのだから。

EOS R5



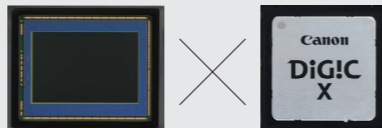
高画質

EOS最高解像性能*1

約4500万画素 35mmフルサイズCMOSセンサー×映像エンジンDIGIC X

新開発のフルサイズCMOSセンサー、DIGIC X、そしてRFレンズ。それぞれの性能を余すところなく引き出し、「解像感」「ノイズ」「光学特性」のすべての要素から、画質向上を追求。すべてのEOSを上回る解像性能を達成しています*2。*1 2020年7月8日現在発売済みのキヤノン製レンズ交換式デジタルカメラにおいて(キヤノン調べ)。

*2 ISO12233準拠のCIPA解像度チャートで確認。



高速連続撮影

電子シャッター使用時最高約20コマ/秒*1の高速連写

最高約20コマ/秒*1(電子シャッター使用時)の高速連続撮影を達成。メカシャッター/電子先幕使用時でも、最高約12コマ/秒*2の高速連続撮影が可能な[高速連続撮影+]を搭載。高速で動く被写体を追従します。

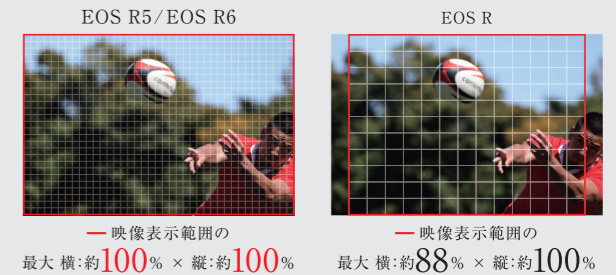
*1 EF-Sレンズ使用時を除く。絞り開放時。詳しくはキヤノン公式ホームページをご参照ください。シャッタースピード、絞り、連続撮影中の絞りの状態、被写体条件、明るさ(暗所での撮影時など)、あるいはレンズの種類などによって連続撮影速度が変化します。*2 RFレンズ、および一部のEFレンズ使用時。詳しくはキヤノン公式ホームページをご参照ください。連続撮影速度は、バッテリーの種類/残量、バッテリーグリップ/WFTの使用有無/バッテリー数、DCカプラー/USB電源アダプターの使用有無、使用レンズ、温度、内蔵Wi-FiのON/OFFなどにより、最大3段階に変化します。最高連続撮影速度は、上記要因の他に、シャッタースピード、絞り、ストロブ使用、フリッカー低減処理、被写体条件、明るさ(暗所での撮影時など)により低下することがあります。



高速・高精度AF

静止画も動画も、より速く、より高精度なAFへ。デュアルピクセルCMOS AF IIでは、測距エリアが、最大(横)約100%×(縦)約100%*1に拡大。任意選択時は、最大(横)約90%×(縦)約100%に拡大しました。自動選択時AFエリア分割数は、最大1053分割(EOS R:最大143分割)*2と細密化。被写体検出性能、追従性が向上しています。

*1 顔+追尾優先AF時、かつRFレンズ(RF600mm F11 IS STM / RF800mm F11 IS STMおよびエクステンダーRFを除く)、EFレンズ(一部を除く現行製品)、エクステンダー EF(III)使用時(マスターレンズのモードに準ずる)に被写体枠が表示された場合。シーンや被写体の状況によって対応できない場合があります。対象レンズはキヤノン公式ホームページでご確認ください。*2 顔+追尾優先AF、かつ、被写体非検出時。



AFスピード0.05秒*

RF24-105mm F4 L IS USM装着時、0.05秒*というAFスピードを実現。AF応答性に優れ、被写体の一瞬の動きもとらえやすくなりました。

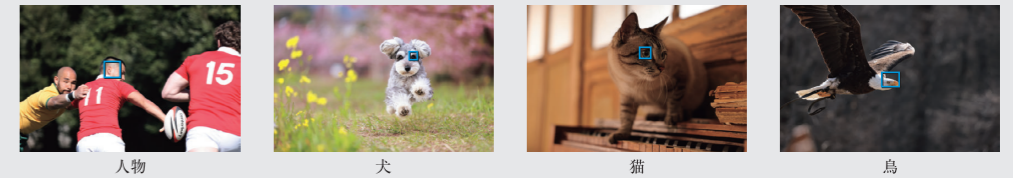
* CIPAガイドラインに準拠して測定したAF時間の結果から算出(撮影条件や使用レンズにより異なる)。内部測定方法[測定条件]測距輝度:EV12(常温・ISO100)、撮影モード:M、RF24-105mm F4 L IS USM使用、焦点距離24mm位置、シャッターボタン操作による静止画撮影時、AF方式:1点AF(中央)、AF動作:ワンショットAF時。

瞳・頭部検出&動物検出*

ディープラーニング技術を使って開発されたアルゴリズムにより、高精度な被写体認識能力を実現した[EOS iTR*2 AF X]。人物の瞳・顔に加え、新たに頭部検出も可能に。被写体までの距離や向き、動きなど幅広い条件で粘り強く人物を捕捉します。さらに動物(犬・猫・鳥)の全身・顔・瞳の検出にも対応*1。被写体の大きさ、顔の向き、傾きに影響されにくい、高精度なピント合わせと追従が可能です。

Version 1.5.0 ウィンタースポーツでヘルメットやゴーグルなどを装着している人物に対する頭部検出性能の向上を図りました。

*1 被写体によっては動物検出できないことがあります。また、犬・猫・鳥ではない被写体に対して動物検出する場合があります。*2 Intelligent tracking and recognition



高い手ブレ補正効果

EOS初のボディ内5軸手ブレ補正機構を搭載。レンズ内光学式手ブレ補正(Optical Image Stabilizer:OIS)機構との協調制御により、RFレンズ使用時*1最大8.0段*2の補正効果を達成。IS非搭載のレンズと組み合わせた場合でも、カメラとレンズの組み合わせに応じて、広角側から望遠側まで最適な5軸手ブレ補正*3が行われます。

*1 全EF/RFレンズ対応(ただしRF5.2mm F2.8 L DUAL FISHEYE、EF-M/EFシマレンズを除く)。*2 CIPA試験基準。RF24-105mm F4 L IS USM、f=105mm時。*3 RF400mm F2.8 L IS USM/RF600mm F4 L IS USM/RF600mm F11 IS STM/RF800mm F5.6 L IS USM/RF800mm F11 IS STM/RF1200mm F8 L IS USMは非対応です。EOS R5より前に発売されたレンズで協調補正を行うには、レンズのファームアップが必要な場合があります。



※ハイブリッドIS対応レンズのみ

協調制御イメージ

暗所撮影

最高常用ISO感度*51200の高感度

常用ISO感度は、100~51200を達成。さらに拡張ISO感度(静止画)では、最低ISO50(L)、最高ISO102400(H)相当の設定が*可能に。暗所の被写体や夜景撮影などをさらに美しく描写します。

*静止画。推奨露光指数。

低輝度合焦限界 EV-6*

静止画撮影時の低輝度合焦限界は、EV-6*を達成。低輝度環境に応じたフレームレートやレンズ駆動制御の最適化を実行し、暗所での撮影でも、高精度なAFが可能です。

*キヤノン試験基準による(静止画撮影時・F1.2レンズ使用時・中央測距点・ワンショットAF・常温・ISO100・Defocus Smoothing コーティングを採用したRFレンズを除く)。

